

今月の一言

キーワード：ジョー・ディマジオ

著書：不動心 著者：松井 秀喜から

ヤンキースタジアムのクラブハウスからグラウンドへ向かう通路に、伝説の名選手ジョー・ディマジオの言葉が書かれています。

I want to thank the Good Lord for making me a Yankee.

ヤンキースの一員になれた幸運を神に感謝したい。

ディマジオは56試合連続安打という不滅の記録を持っている名選手で、走攻守にわたって素晴らしいプレーヤーでした。しかし、それだけではありません。グラウンドを離れた部分でも、紳士的な振る舞いで人々の尊敬を集めた選手と聞いています。僕の恩師、長島茂雄氏もディマジオに心酔していたそうです。そのディマジオも「ヤンキースの一員」であることを誇りとし、その誇りが彼を支えていたのでしょう。選手としてディマジオの域には、まだまだ遠く及びません。しかし、その心境は少しばかり分かるような気がしています。

会社勤めをしている友人と話していても、自分の仕事や会社に誇りを持っている人と、そうでない人がいます。一概には言えないでしょうが、誇りを持っている人の方が素晴らしい仕事をするような気がします。それは会社に依存する、独立心がないという意識とは違うと思います。それを守るために必死に戦える。それが誇りだと思います。

また、誇りを持つ人が多い組織ほど、ここぞという場面で強いような気がします。ヤンキースには、ヤンキースの一員であることに誇りを持っている選手が多い。選手だけではなく、監督・コーチ・フロント職員・ボールボーイも含めて「ヤンキース」に誇りを抱いています。それがヤンキースの伝統、強さにつながっているのだと思います。

もちろん僕も、ヤンキースの誇りを持って生きています。そしてこれは、自分を支える財産にもなっています。

プロの技術集団の一員としての誇りを・・・

2007年7月25日

さいのう とおる

追伸：備えあれば憂いなし。災害は突然！今一度身のまわりの点検をして下さい。